



感染症が発生しています

マイコプラズマ感染症や溶連菌感染症で欠席している児童がみられます。他にも発熱や咳、鼻水などの症状で欠席している児童もいます。うがい、手洗いや規則正しい生活を心がけ感染症予防をお願いします。

マイコプラズマ感染症

【原因】肺炎マイコプラズマ(細菌)

【感染経路】飛沫感染

【症状】咳、発熱、頭痛などのかぜ症状がゆっくり進み、乾いた咳が徐々に激しくなる。



しつこい咳が3~4週間続くこともある。

中耳炎や鼓膜炎、発疹を伴うこともある。

早めに受診することが大切です。

※登校時期につきましては病院での確認をお願いします。

溶連菌感染症

【原因】A群溶血性連鎖球菌(細菌)

【感染経路】飛沫感染

【症状】高熱がでることがあり、のどの痛みや頭痛などがあられる。全身に小さな発疹がでたり舌が赤くブツブツしてくることもある。



※適切な抗菌薬による治療開始後24時間以内に感染力はなくなるため、それ以降は登校可能です。

つづ 続けよう 感染症対策



マイコプラズマ感染症や溶連菌感染症を予防するには、一般的な感染症対策を行うことが大切です。以下の感染症対策を心がけ継続するようにしよう。

・手を洗う



・うがいをする



・マスクをつける



・咳エチケットを
こころがける



・換気する

